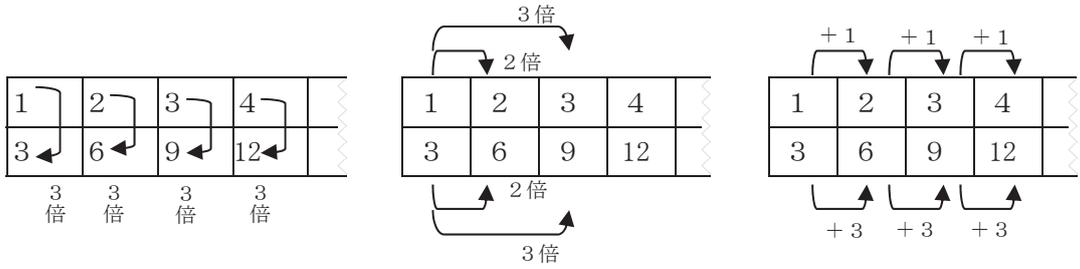


<b>4年</b>	<b>□、△などを用いた式</b>	__年 __組
<b>13</b> 解説		名前

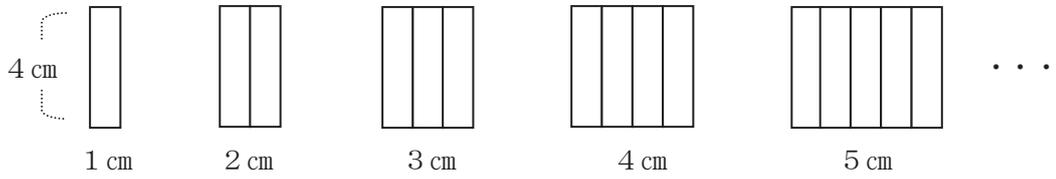
表をたてに見たり、横に見たりして、きまりを見つけよう。



たてが4 cm、横が1 cmの長方形の横の長さを 2 cm、3 cm…とのぼしたときの面積の変化を調べましょう。

①表にまとめましょう。

・図をかいて考えます。たての長さは4 cmのまま、長方形が横に1 cmずつのびていきます。



・それぞれの長方形の面積を、順に計算して表にまとめます。

表を横に見ていくと、横の長さが1 cmずつふえると、面積は4 cm<sup>2</sup>ずつふえていることがわかります。また、横の長さが2倍、3倍になると、面積も2倍、3倍になっています。これらのきまりを使うと、かんたんに表にまとめることができます。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7
面 積 (cm <sup>2</sup> )	4	8	12	16	20	24	28

+4   +4   +4   +4   +4   +4

②横の長さを□cm、面積を△cm<sup>2</sup>として、□と△の関係を式にしましょう。

横の長さ (cm)	1	2	3	4	5	6	7
面 積 (cm <sup>2</sup> )	4	8	12	16	20	24	28

・表をたてに見て、横の長さとの面積のきまりを考えます。

横の長さ × 4 = 面積 または、4 × 横の長さ = 面積 となっているので、

□ × 4 = △      または、      4 × □ = △